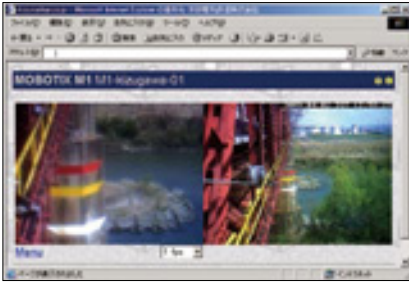


自然災害対策

気象観測機器

当社では、各種気象観測機器として風速計16カ所、雨量計4カ所、河川監視カメラ3カ所、地震計8カ所を沿線に設置しています。観測データによって適切な運転規制を行い、暴風・豪雨などによる異常な自然現象による運転事故の発生を未然に防止しています。

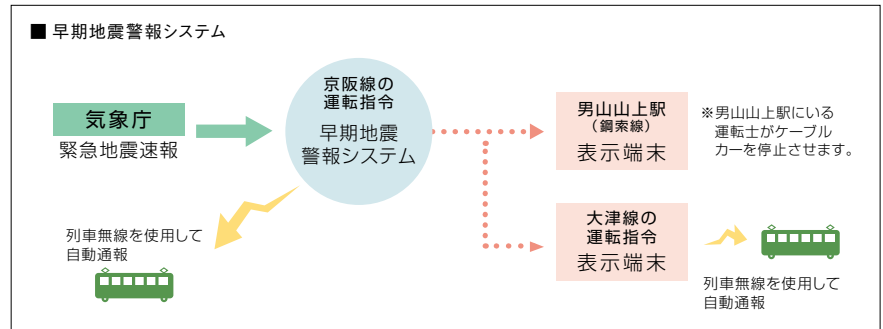


▲河川監視カメラ

早期地震警報システム

気象庁から配信される緊急地震速報を利用して、当社線沿線で震度4以上が予測される場合は、自動的に列車無線で全列車に対して通報することにより、大き

な揺れが到達するまでに危険箇所を避けて緊急停止を行い被害の最小限化を図ります。大津線・鋼索線にも表示端末を設置し、地震情報を受信できるようにしています。



止水鉄扉

当社の営業線では初めての施設で、河川防護(土佐堀川底等崩落防止)のための施設(止水鉄扉)です。なにわ橋駅東端部[ローラー式ゲート]と天満橋駅西側付近[スイング式ゲート]に鋼製の「ゲート」と「操作設備」(移動式剛体架線含む)を中之島線の供用にあたり新設しました。

また、新規施設の保守点検に合わせて、施設の稼働のための訓練も実施しています。



▲なにわ橋駅側(ローラー式ゲート)
非常時:扉が閉まっている状態



▲天満橋駅側(スイング式ゲート)
通常時:扉が開いている状態

ひらかたパークの安全対策

当社が運営する「ひらかたパーク」では、一部の遊戯機のメンテナンスを寝屋川車両基地で行っています。鉄道会社直営の強みを活かし、ひらかたパークと車両部門が協力し、高いレベルの技術で遊戯機の安全を支えています。



▲ジェットコースターの分解・整備

